

LogVillage2.0 Lite

v2.4.1.2 用修正プログラム リリースノート

この資料は、LogVillage2.0 Lite v2.4.1.2 用修正プログラムのリリースノートです。
変更内容は下記の通りです。

記

<マネージャ>

■不具合修正

1) 「ログオン・オフ履歴」アカウント別総利用時間

- ・利用時間の計算ロジックに不具合があり、非現実的な利用時間が表示される不具合を修正しました。

※12/19 付け修正プログラムへの追加修正となります。

12/4 付け修正以降の詳細な修正内容は<修正内容のご説明>をご参照ください。

以上

<お問い合わせ先>

本製品に関するご意見、ご質問はメール、TEL、FAX にて下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせの内容によっては、返答に多少お時間をいただく場合がございます。予めご了承下さい。

〒135-0032 東京都江東区福住 1-14-4 山崎ビル 1F

株式会社 蒼天サポートセンター

e-mail : support@so-ten.co.jp

TEL : 03-5809-8406

FAX : 03-5809-8495

受付・対応時間 : 月～金曜日(祝祭日、年末年始休暇を除く) 10:00～17:00

<修正内容のご説明>

■不具合現象

「ログオン・オフ履歴」画面での“利用時間の表示”において、出力対象期間が長い時よりも、短い時の方が、利用時間が大きい数値となるアカウントが存在する。

■原因

1) ログオン情報に対応するログオフ情報が記録されていないデータが存在した場合、同一 PC の次回起動時刻までの時間を利用時間として算出するロジックとなっておりました。

6/1～11/16 よりも、7/1～11/16 の方が利用時間が大きくなっていた原因は、以下のデータが存在していたためでありました。

- ①2018-06-21 のログオフ
- ②2018-07-13 のログオン(同一ログオン ID が当ログオン以降にない)
- ③2018-08-13 の起動(起動後、①、②とは別アカウントでログオン)

- ①、②は、同一アカウント(xxxxx15)、同一ログイン ID(PC は別 PC)
- ②、③は、同一 PC

6/1～11/16 の場合、b)のログオンと同一ログオン ID のログオフが過去の日時となるため異常データとして①、②のデータは利用時間の算出から除外されていました。

7/1～11/16 の場合、①のデータは読み込まれず、②を読み込み、ログオフ情報がないため原因1)のロジックにより、③までの時間を利用時間として算出していました。
このことが、7/1～11/16 の方が利用時間が大きくなる結果となっておりました。

※ログイン ID とは、Windows ログイン毎に OS より付与される ID となります。
本 ID はイベントログ(セキュリティ)に記録されています。

■改修内容

- ・原因1)の算出ロジックは利用時間の算出に不適切となりますので削除しました。
この修正により、ログオンに対応するログオフデータが無い場合は、当該ログオンデータは利用時間の算出から除外するようにいたしました。
- ・同一アカウント、同一 PC、同一ログイン ID で、以下のようなログパターンが発生した場合の処理を修正しました。
 - ①ログオン
 - ②ログオン
 - ③ログオフ①から③までの時間を利用時間として算出していましたので、①のデータを算出対象データから除外し、②～③の時間を利用時間として算出するよう修正しました。